

とうせい おか
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～

あさがお



今月も地域の人のかかわりや保護者の方のお力添えにより、園生活がより一層楽しく盛り上がりました。また、季節感を楽しめるサンタクロースやトナカイをいろいろな環境の中で鑑賞して感性を磨きました。

表現活動では、子どもたちがいろいろな材料、材質、質感、色、模様などを自分で選び、造形活動にも取り組みました。3歳、4歳、5歳それぞれの発達に合わせて、材料を事前準備して制作活動に取り組みました。作ったものは、遊びに取り入れたり、他学年が見学したりして楽しみました。

園教育では、周りの友だちの活動を見たり、その思いを伝えたりすることを大切にしています。時には、教師が子どもの思いを代弁したり、言葉に表せない感情には、きっかけをつくりながら引き出したりします。このかかわりの中で、身近にいる大人の言葉掛けが子どもたちのモデルになっていくため、私たちは常に振り返りながらかかわりを深めつつ見直しています。

感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して
豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする

ねらい「感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ」

幼稚園においては、日常生活の中で出会う様々な事物や事象、文化から感じ取るものやそのときの気持ちを友だちや教師と共有し、表現し合うことを通して、豊かな感性を養うようにすることを大切にしています。

また、自分の気持ちを一番適切に表現する方法を選ぶことができるように、さまざまな表現の素材や方法を経験していくことも大切だと思います。

このような思いで毎日の制作活動を工夫して取り組んでいます。



さまざまな材料を使って制作を楽しむ【3歳児】



想像をふくらませて制作を進める【4歳児】



友だちと協同して造形活動に取り組む【5歳児】

ふえり～すさんと遊ぼう ～ワクワク！楽しい！ 幼稚園かくれんぼ！～

「ここにいる？」 「どこかなあ。」 「見つかった！」



「見つかりましたか？」 「やったあ！」

12月10日(水)保護者有志サークル「ふえり～すクラブ」のみなさんが子どもたちと遊ぶ企画を考えてくださいました。本番を迎えるまでに園と相談して、子どもたちの成長に合わせた内容に仕上げました。

「幼稚園かくれんぼ」という子どもたちがワクワクする企画で進みました。幼稚園のどこかにふえり～すさんが隠れている!という設定で、子どもたちは、普段の遊びと同じようにワクワクして探しに行きました。危険ポイントには入らないようにしようというルールも守れていました。

「ふえり～すさん対子どもたち!」とてもいい勝負で、終始かくれんぼを楽しみました。

遊びの終盤には「全員見つけた～!」の歓声が上がりました。なかなか見つけれなかった最後の人を探し出した喜びを全園児が共有しました。

楽しかった後には、さらにサプライズがありました。「部屋の中に贈り物が隠れているから探してね～!」と声がかかり、子どもはワクワクしながら贈り物を探しあて、サンタクロースの手作りけん玉を受け取りました。

このような素敵な活動を子どもたちと一緒にしてくださるのが「ふえり～すクラブ」のみなさんです。そのかわりを見習いながら、園教育に取り入れていき、さらに豊かな活動になるようにしていきたいと思います。その翌日、園庭からは「もういいか～い!」「ま～だだよ!」と元気な声が響いていました。

ふえり～すさんをはじめ、全ての有志サークルのみなさん、今年度も大変お世話になり、ありがとうございました。

2025 年度バージョン 冬の生活表 ～子どもの意思決定を大切に～

日々の生活の中で、子どもの意思を尊重することを大事にしてきました。お正月休みの間、家族で楽しく過ごしたり、目標をもったりして生活を進めていきたいと考え、2種類の生活表を用意しました。

子どもたちが自分で選んだものを持ち帰りますので、生活を整えるためのひとつのツールとして使っていただけると嬉しいです。親子で相談しながら進めるのもよいと思います。無理のない範囲で気持ちにゆとりをもって楽しく活用をしてみましょう。



四季折々の食材が食べられる
ようになりましたね。
お家でもいただく命を大切に
してほしいです。いっぱい食べて
大きくな～れ♡



～12月あさがおイラスト りとさん～

文責 まつなが あい